

JA自己改革の取組み

2025.1 Vol.5



笑顔いっぱいの「ありがとう」のために
For Your Smiles, For Your Thanks,



JA利根沼田

〒378-0053 群馬県沼田市東原新町1940-1
TEL.0278-22-6633 / FAX.0278-22-6666

農業者の所得増大

JGAP認証の審査を受ける

糸之瀬レタス部会、久呂保レタス部会、赤城根レタス組合が農業生産工程管理（GAP）の審査を受けました。JGAPの審査では書類審査を重点的に行い、圃場や設備、労働条件の確認を行います。



青果物販売高100億円を目指す

J A役職員と全農ぐんま職員が京浜地域卸売市場の5社を訪問。本格出荷の前に取引市場と情報共有を図り、生産現場に見合った価格形成を要望。安定出荷により供給力を向上させて、有利販売で「農業者の所得増大」を目指します。



店内改装でパワーアップ「食彩の森」「ファミマ」

出荷量を増やしたいという生産者からの声に応え、店内の改装工事を行いました。陳列棚を増やし、より多くの商品を見やすく配置できるようにし、来店者の動線を考えてレイアウトやレジの位置を変更しました。また、広く通路を確保することで、車椅子での入店や混雑時でも買い物しやすい店内へと生まれ変わりました。



農業生産の拡大

トマトセンター稼働

白沢トマトセンターと片品トマトセンターでは約200人が11月上旬まで出荷作業を行い、白沢トマトセンターからは「夏美人」、片品トマトセンターからは「尾瀬トマト」のブランドで流通します。今年度は両センター合わせて約175万ケース（1ケース4キロ）、販売金額31億円の実績となりました。

利根沼田産米の品質が向上

2024年度産の「コシヒカリ」を中心とする米の等級検査が始まりました。昨年度は高温障害により1等比率は67%でしたが、今年度の1等比率は76%、JA米の出荷量は約192トン（約6千4百袋）の実績でした。



地域の活性化

各所で農業まつり開催！

地域の基幹産業である農業が活性化すれば、地域社会全体が元気になると考え、地域の生活に密着した様々な取り組みを通して生活インフラを支えています。

- ・農業まつり
- ・年金友の会グラウンドゴルフ大会・ゴルフ大会
- ・金融移動店舗車
- ・アシストホール
- ・ガソリンスタンド



スポーツの力で地域振興

スポーツによる地域振興を掲げ、社会人の男子サッカーチーム「ソルジェンテ群馬」のメインスポンサーとして1月に本格始動。群馬県社会人サッカーリーグに加盟し、最短7年でのJリーグ参入を目指します。



地域の問題解決に向けて

本店で第1回利根沼田食品アクセス協議会を開きました。農林水産省が掲げる「令和6年度食品アクセス緊急対策事業」による取り組みで、利根沼田地区ではJAが実施主体となり、行政や地域の食品アクセス関係者が連携し協議会を設置。買い物困難者、経済的困窮者への問題解決に向けて取り組んでいます。



広報活動 食農教育 職員教育

親子で楽しく農業体験

体験を通じ、食と農の大切さを学び、自然や地域農業への理解を深めることで、親子の絆を強めながら次世代の農業への関心をはぐくんでいます。

少年学童軟式野球大会JAグループ群馬杯

地域の子どもたちを応援するとともに、球場へ横断幕を掲げ、JAイメージ向上とJA米の消費拡大のため、毎年参加賞や副賞として地元の米を贈っています。

魅力的な店舗を目指して

魅力的な店舗づくりには、ディスプレイ技術の研鑽が不可欠で、商品や空間の魅力を最大限に引き出し、顧客の興味と購買意欲を高める工夫を重ねています。

青年部・女性部 活動

補助事業への理解深める

青年部は、利根沼田農業事務所から講師を招き、補助事業に関する勉強会を開き、補助事業の種類や申請までの流れ、申請する際の注意点などを学び理解を深めました。

仲間と親睦深める

女性部は研修交流会を開き、178人が参加。研修会では、歌に合わせて体をたたく「ボディリズム」に挑戦！交流会では、複数の支部が合同になるよう座席を割り振り、胸元に名札を付けることで他支部の部員とも名前呼び合い、親睦を深めることができました。

「親子で楽しく農業体験」紙芝居

女性部の食育活動では、紙芝居を通じて、子どもたちに「いのち」「食べ物」の大切さ、「農業」の素晴らしさを伝えました。

対話運動の展開

管内各地で開かれる座談会

座談会はより多くの地域の声を受け取ることを目的に開催されます。組合員のニーズを直接聞く貴重な機会として開催。組合員のためのJAであるべく、活発な意見交換が行われました。

自己改革の目標達成へ

第5期中期3ヵ年計画として対話を通じた不断の自己改革目標を掲げています。生産者からの意見を直接聞くことで、農業者の所得増大や農業生産の拡大、地域の活性化を目指し一丸となって邁進しています。

JA利根沼田公式SNSははじめました

地域農業の魅力発信や信頼構築、若年層との交流を通じて、JAの価値や役割を広く伝えるため、LINE・Instagram・Facebookなどの公式アカウントを開始しました。



広報誌・広報誌コミュニティ版

地域農業の魅力や活動を伝え、組合員と地域住民のつながりを深めるとともに、情報共有や理解の醸成を図るため、情報発信しています。



青年部が田植えを指導

田植えを通じ、米作りの大切さを伝え、持続可能な開発目標（SDGs）への取り組みの一環としての活動に力を入れています。



LINE
宮農NEWS



宮農に関する情報をタイムリーでお届けします！
友だち追加をお願いします！
@732hywxh

Instagram
JA 利根沼田



宮農に関する日々の活動を投稿します！
フォロー、いいねをお願いします！
@JA_TONENUMATA

Facebook
JA 利根沼田



宮農に関する日々の活動を投稿します！
フォロー、いいねをお願いします！

LINE 公式アカウント 友だち募集中！
直売所の最新情報をLINEで配信開始！直売所のイベント情報やLINE限定のお得な情報をチェック！



JA利根沼田
農産物直売所



JA 利根沼田 農産物直売所
食彩の森



ファミリーマート

JA利根沼田 自己改革行程表(数値編)抜粋 令和6年度 第3四半期実績(11月末)

農業者の所得増大・農業生産の拡大

実施事項		目標とする指標	令和6年度		取組状況
対象者	売上増加・コスト削減効果【想定】		目標値	第3四半期実績	
販売先ニーズに応えた強化品目野菜の取引の拡大を通じた売上増加		強化品目野菜 取引数量	トマト 6,750 t	トマト 7,015 t	面積拡大への推進活動や大手量販店で利根沼田フェアを開催しました。 規格・品質統一に向け、選果選別を強化しました。
中核的担い手～多様な担い手	トマト1kgあたり315円 枝豆1kgあたり910円		枝豆 350 t	枝豆 317 t	
銘柄集約肥料の取扱拡大を通じたコスト削減		銘柄集約肥料 取扱数量	23,000 袋	13,000 袋	価格調査を行い競争力のある予約価格を設定。予約については配送センターのみ自取可能としていますが、11月1日～12月16日の間は支店店頭販売分も予約最安値とし、早期購入を推進しました。
全ての農業者	1袋あたり350円				
担い手直送大型規格除草剤の取扱拡大を通じたコスト削減		担い手直送大型規格 除草剤取扱数量	30 件	5 件	対象取扱品目であるバスタ液剤(40L分)が大幅に値上がりし、同等の効果があり値上げ幅が少なかったザクサ液剤の推進に方向転換しました。バスタ液剤については来年使用分の予約について10Lに対し、500ml規格を2本プレゼントするキャンペーンを行って受注の獲得を図っております。
全ての農業者	500mlあたり700円				

県域共通目標

県域共通目標	目標とする指標	令和6年度		取組状況
		目標値	第3四半期実績	
販売品取扱高の拡大(畜産を除く)	販売品取扱高	9,979 百万円	11,444 百万円	市場流通の有利性を生かした契約的販売の拡大に努めました。 また、大手量販店で利根沼田フェアを開催しました。

地域の活性化

実施事項	目標とする指標	令和6年度		取組状況
		目標値	第3四半期実績	
農業振興の応援団の拡大	意思確認書の提出人数	50 人	53 人	事業利用を通じて准組合員加入時に管内農業やJAの概要等説明し理解を促しました。

経営基盤の確立・強化

実施事項	目標とする指標	令和6年度		取組状況
		目標値	第3四半期実績	
適正な手数料率による販売手数料と施設利用料の確保	販売手数料率 予冷費 コンテナ使用料	3月より販売手数料を3.5%で実施	令和5年3月より販売手数料を3.5%で実施	令和5年3月より販売手数料3.5%で実施しております。
新施設により南部地区の統合と各集荷所のハブ化を行い集出荷機能改善と品質の均一化を図り有利販売に繋げると共に業務及び輸送の効率化を図る(9集荷所を7集荷所に統合)	再編集荷所	9拠点 (再編計画実行)	8拠点	新施設については、8回の検討会議の中で現状分析と検討の方向性の確認を行い(規模・予算・場所等)の新設案を検討中です。 また、白沢集荷所の青果物(蒟蒻を除く)については全て沼田集荷所へ荷受・販売業務を集約しました。

対話・意思反映

項 目	令和6年度		取組状況
	目標値	第3四半期実績	
組合員とのふれあい訪問・対話(人数)	8,000人以上	6,496人	「地域ふれあい係」を中心に訪問活動の中で対話による意見・要望等の集約に努めました。
准組合員個別モニター(広報モニター)	50人以上	55人	昨年度よりモニターを増し広報誌配布等の訪問活動を実施し意見集約に務めました。
准組合員アンケート(人数)	年1回 50人以上	0回 0人	個別モニター(55人)に対して、12月にアンケートを実施し准組合員としての意見を聴取します。